



学校通信 医生丘小だより

令和4年度 第17号 R5.2.10

北九州市立医生丘小学校

校長 大成 清徳

全国学力・学習状況調査の結果と今後の取組

◎毎年、文部科学省が実施している「全国学力・学習状況調査」は、全国の児童生徒の学力や学習状況を把握し、教育施策の成果と課題を検証し改善を図るためのものです。

今年度は、昨年4月19日(火)に、6年生を対象として、「教科(国語、算数、理科)に関する調査」と「児童質問紙調査」を実施しました。この度、本年度の調査結果を分析し、今後の取組についてまとめましたので、お知らせします。学校の現状を知っていただくとともに、ご家庭での取組の参考にしていただければと考えます。

なお、本調査で分かることは、学力の特定の一部分であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。日頃の授業や単元テストなどでは、また違った結果が表れていることも事実です。本校では、全国規模で行われる本調査を十分活用して、他の教科等も含め、総合的に学力向上を目指しています。

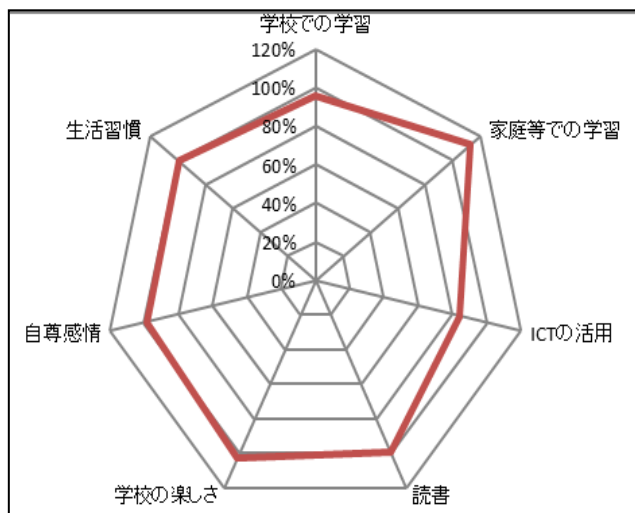
◇全国・本市の学力調査(国語、算数、理科)の結果

本年度の結果	国語		算数		理科	
	平均正答数	平均正答率	平均正答数	平均正答率	平均正答数	平均正答率
本市	8.9	64	9.8	61	10.4	61
全国	9.2	66	10.1	63	10.8	63

◇本校の学力調査結果の分析

国語	全体的な傾向や特徴など	全ての問題で全国平均正答率を上回っている。特に、学習指導要領の「知識及び技能」の「言葉の特徴や使い方にに関する事項」及び「思考力、判断力、表現力等」の「書くこと」領域の問題における正答率が特に高い。	全国平均正答率との比較 上回っている
	よくできた問題	「文章全体の構成や書き表し方などに着目して、文や文章を整える」問題や「必要なことを質問し、話し手が伝えたいことや自分の聞きたいことの中心を捉えたりする」問題	
	努力が必要な問題	「登場人物の行動や気持ちなどについて、叙述を基に捉える」問題や「登場人物の相互関係について、描写を基に捉える」問題に課題がある。	
算数	全体的な傾向や特徴など	全ての問題で全国平均正答率を上回っている。特に、学習指導要領の「図形」領域の問題の正答率が大きく上回っている。問題形式では、記述式の問題における正答率が特に高い。	全国平均正答率との比較 上回っている
	よくできた問題	「伴って変わる二つの数量が比例の関係にあることを用いて、未知の数量の求め方と答えを記述する」問題や「加法と情報の混合したポイント数の求め方を解釈し、他の場合のポイント数の求め方と答えを記述する」問題。	
	努力が必要な問題	「二つの数の最小公倍数を求める」問題や「百分率で表された割合を分数で表す」問題で全国及び福岡県の平均正答率を下回った。	
理科	全体的な傾向や特徴など	全ての問題で全国平均正答率を上回っている。特に、学習指導要領の「粒子」を柱とする領域の問題の正答率が大きく上回っている。問題形式では、短答式の問題における正答率が大きく上回っている。	全国平均正答率との比較 上回っている
	よくできた問題	「自然の事物・現象から得た情報を、他者の気付きの視点で分析して解釈し、自分の考えをもち、その内容を記述する」問題や「自分で発想した実験の方法と、追加された情報を基に、実験の方法を検討して改善し、自分の考えをもち」問題	
	努力が必要な問題	「観察で得た結果を、問題の視点で分析して、解釈し、自分の考えをもち」問題や「提示された情報を、複数の視点で分析して解釈し、自分の考えをもち」問題	

◇学校での学習活動、家庭での生活習慣等に関する質問紙調査結果の概要



<質問紙調査の結果分析>

◎家庭で、自分で計画を立てて学習していると答えた児童が昨年度よりも増えている。学習時間も増え、自主的に学習する姿勢がうかがえた。

◎読書を好きと答えた児童が、74.7%いるので、読書への関心は高いと考える。授業時間以外の読書時間を増やす取り組みが必要である。

◎友達と協力することや、人と違う意見について考えることが楽しいと感じている児童が多い。コロナ禍でも、授業の中で工夫して話し合い活動を取り入れてきた成果が見られる。

◎授業や家庭学習において、ICTの積極的活用を進める必要がある。

重点的な取組

① 教科に関する取組

- 学年の実態に応じて、各教科の授業で、資料を活用して読み取る活動や、根拠を明確にして自分の考えを伝える活動、意見交流を通して自分の考えを深める活動等を更に充実させる。
- 授業において、適宜、ICTを効果的に活用していく。

② 家庭生活習慣等に関する取組

- 各学級で、学級掲示板に家庭学習のよい取組を紹介するなどして、家庭学習の啓発活動を継続して行う。
- 読書週間の実施内容や図書館利用状況等、読書に関する取組を保護者へ発信することで、家庭において「本に親しむ」環境づくりを心がけるよう啓発を図る。

それぞれの未来を思い描こう

【6年生】『夢授業』



お招きした職業人

小学校教師、銀行員、都市開発業、スポーツトレーナー、外交官、ファイナンシャルプランナー、放課後等デイサービス、自衛官、海上保安官、警察官、ドローンパイロット、美容師、ユーチューバー

○ 2月2日(木)、6年生は様々な職業で働いている人をお迎えして、体育館で『夢授業』を受講しました。この取組は、キャリア教育の一環として、北九州キャリア教育研究会のボランティアの方々と共に「様々な職業人と出会い、職業観を芽生えさせ、育てることで将来へ希望をもたせる。」「将来の進路について考えることで、今何をすべきかの気付きを与える。」という趣旨のもと、実施されています。

当日は、右記にあるように、多様な職業で活躍されている方々に来校いただき、児童はグループごとに15分ずつ、5人の職業人との交流を行いました。働くことの意義や楽しさについて、図や写真を交えて、また実際に仕事で使う道具や仕事着にも触れさせていただきながらのお話に、どの子も、目を輝かせて聞き入っていました。子どもたちからの質問にも丁寧に答えていただきながら、有意義で和やかなひと時を過ごすことができました。

子どもたちからは、次のような感想が寄せられました。



◎落水さんの話を聞いて一番思ったことは、何を失っても楽しむ力さえあれば幸せになれるということです。落水さんがあんなに楽しそうに話していたのは、きっとこの力があったからだと思います。私も何か失ってしまった時には、落水さんの話を思い出して、楽しむ力を忘れないでおこうと思いました。1組:女児

落水 洋介さん

少しずつ身体・手足・口が動かなくなり、やがて寝たきりになる原発性側索硬化症という100万人に1人の難病を患う。北九州を中心に、地域の職業人と一緒にキャリア教育の講師や、学校・企業での講演活動やイベントへの出演など精力的に行う。会社経営、ユーチューバー等として活躍。

◎私は、福祉は大変そうなイメージだったので、福祉は面白い、かっこいいということが心に残りました。そして、障害は人との関わりの中でなくしていけるんだなと思いました。分かってあげられない悔しさもあると聞いて大変そうと思ったけど、私も人に関わる、役に立つ人になりたいと思いました。1組:女児

◎ファイナンシャルプランナーの仕事は、コミュニケーションが大切で、お客様の気持ちに寄り添い、人生の計画をつくったりする仕事ということが分かりました。それと、神河さんのモットーATM(A明るく、T楽しく、M前向きに)という言葉が響きました。僕はこれからこの言葉をモットーにしていきたいです。2組:男児